

## はじめに

仙台が「杜の都」と呼ばれるようになったのは明治時代後期と言われてい  
ます。今から400年以上前に仙台藩初代藩主伊達政宗公が、城下に食用や建  
築用材となる木の植樹を奨励したことに由来する屋敷林が生長し、寺社林、  
広瀬川河畔や青葉山の緑が一体となり、まち全体が緑に包まれていました。  
その豊かな緑は戦災により多くが失われましたが、現在では、定禅寺通のケ  
ヤキ並木や西公園などが「杜の都・仙台」を象徴する緑へと生長するととも  
に、市民の皆さまの活動により緑が育まれています。

本市は、平成12年に「杜の都・仙台 わがまち緑の名所100選」を選定しま  
した。以来、緑の名所は多くの皆さまに親しまれてきましたが、選定から20年  
以上が経過し、状況もさまざまに変化してきていることから、令和5年の第40  
回全国都市緑化仙台フェアの開催を機会に、令和版として今回新たに選定を  
しました。公園、大学のキャンパス、商業施設の広場、山や川の風景など多様  
な場所が令和版の名所として選定され、仙台はじまりの地とも言える青葉山周  
辺など皆さまにおなじみの名所のほか、新たに45箇所が名所の仲間入りをし  
ています。

このガイドブックは、今回選定された「杜の都・仙台 令和版 わがまち緑  
の名所100選」の魅力を広く知っていただくために発行するもので、皆さまに  
ご応募いただいた写真、俳句及び短歌を掲載しています。四季折々の表情を  
とらえた写真や名所に思いを致しながらつくられた俳句や短歌の数々により、  
名所の多彩な魅力をお伝えしています。作品をお寄せいただきました皆さまに  
深く感謝申し上げます。また、俳句と短歌の掲載作品の選定にあたりまして  
は、宮城県俳句協会の坂内佳禰氏、現代歌人協会の斉藤梢氏に多大なるご  
協力をいただきました。あらためて御礼申し上げます。

これからも、「杜の都・仙台 令和版 わがまち緑の名所100選」を通して  
多くの皆さまが仙台の緑に触れ、緑を大切に思う気持ちがつながることによ  
り、藩政時代からの「杜の都・仙台」の緑を育み、将来に受け継いでいくこと  
ができれば幸いです。